

ど の し た 淵

グループボランティア活動】

7月の第3日曜日はボランティアの日第2弾です。公民会行事の「公民館及び周辺清掃」を、グループボランティアでの実践活動と併せて取り組みます。公民会内居住者全員が①シニア②ウーマン③ヤングアダルト&ジュニアの3グループに分かれ、それぞれの持ち場で清掃ボランティアに参加していただくものです。

現時点では①グループは大山祇神社周辺並びにふれあい広場周辺②グループは公民館内外とソーマン交流準備③グループはどのした淵の作業計画です。

更に10時半前後からは昨年も実施した、パックラフト&サップ体験青少年交流からのそうめん懇親会もやる予定です。ボランティア作業が終わった方はソーマンを食べてから解散してください。昨年はソーマンがズンバイ余って困りました。また青少年交流体験会にも参加してください。交流人口・関係人口増に取組むには、地域住民の理解と歓迎する雰囲気づくりが大切です。

更に、前日の16日(土)には、社会教育課が親子カヌー体験会をどのした淵で行うとともに、夜は隣地の埋め立て地にさつま町のキャンプ愛好家を集めて1泊し、キャンプサイト構想等キャンプ談義にふけりたいと思います。興味のある方は御参加ください。キャンプパーたちも地元の方々と交流したいと言っています。そして、キャンプパー達には17日の作業にも加勢もらう予定です。

七夕短冊に願い事も書いてきてくださいね

発行責任者

高峯公民会長
三 腰 善 行
090-1089-9432
令和4年7月1日発行



のぼり旗制作・設置】

令和4年度泊野区活性化委員会文化民生部会で史跡等の案内のぼり旗を発注しました。出来上がったらそれぞれの場所に設置します。高峯分は現王様の腰掛石・椿峠、どのした淵です。関連して、現王様の腰掛石を栄治さん宅内から向かい側の自販機前に移設し、泊野の魅力発信に繋がります。今後は年次的に活性化の予算の範囲内で各所の案内板の設置や、泊野巡りウォーキングツアー(仮称)などへのイベントに繋がられたらと考えています。地区内の自然人口増が見込めないのであれば、交流・関係人口を増やし地域の魅力発信からの活性化に結び付けないといけません。



ふるさとの史跡と伝承販売】

令和3年度に作成した【ふるさとの史跡と伝承】を販売します。既に回覧で申込を受けましたが、今後、知人・友人・親戚等からお問い合わせがありましたら、私まで御一報ください。4年度町の元気再生事業(区活性化での取組)収益事業として承認いただきましたので、公に販売いたします。

たかね寺小屋く持続可能な地域づくり

【5Rって何?】 part ①

①リデュース ②リユース ③リペア ④リターン ⑤リサイクルの5つの単語の頭文字です。それぞれの単語の意味、実践行動について順次掲載します。

①リデュース・ごみになるものを減らす
◇生ごみをよく水切りから出す 生ごみの約80%は水分です)

◇食品は必要な分量を買い、料理を食べ残さない。

◇買い物袋(エコバッグ)を持参し、レジ袋は使わない(断る)。

◇過剰な包装を断る。

◇生ごみの分解、堆肥化に取り組む。

◇製品やサービスを購入する際に、環境を考慮し必要性をよく考え、環境への負荷ができるだけ少ないものを購入する(グリーン購入)

【付録】食べ物の「3ない運動」 買い過ぎない・作り過ぎない・食べ残さない

宴会時の「3010運動」宴会開始30分、終了前10分は自席に戻り、料理を残さないように食べ切りましょう。なんていうのもありますヨ。

ごみの発生抑制と資源の有効利用を進め、環境への負荷が少ない環境循環の実現に繋げるため5Rに取り組みしましょう。

公民館周辺環境整備

2023年に開催の「燃ゆる感動かごしま国体」では、競技会場や沿道、街並みなどを花で彩り、全国から来られる皆さんを暖かくまごころのこもったおもてなしでお迎えするために、県民総参加のもと花いっぱい運動」に取り組んでおります。

町内の区公民館・公民会に「花育てリレー」への協力要請がありましたので、申し込みました。

プランター3個に薩摩中央高校から花苗が8月中旬に配布されます。公民館敷地かインター付近に配置できたらと思っています。花の種類はマリーゴールド・サルビア・ニチニチソウ・コリウスです。

更に衛自連の環境衛生施設整備事業助成金の助成を受けて、プランター・花苗を購入し環境整備に努めたいと思います。1万円上限で交付されます。

届け出避難所認定

公民館を届出避難所として申請したところ、現地調査の結果認定され、早速、防災無線も設置されました。今後、指定避難所（泊野地区体育館）に避難できない緊急事態が発生した場合で、やむを得ない時に限り開設いたします。通常は指定避難所への非難が優先されますので、早めの非難に努めてください。



『なごき』ひなぎ 第2弾

活性化委員会では3年度に作成した「ふるさとの史跡と伝承」に引き続き、ふるさとつなぎ第2弾として、『言魂手箱』(ことたまてばこ：言霊と玉手箱の併せ造語)の編集に取り組みます。

これは関西きらら会の久木野正志さん、久木野出身昭和25年生まれ)が中心となり会員の皆さんや知人・親戚などから集めて作られた、遺したい泊野言葉『ひなたぼっこ』の冊子を基に加除修正・リメイクして、『言魂手箱 (ことたまてばこ)』として作成するものです。

『あぐん』まで昔から使っている泊野弁(鹿児島弁)を1冊にまとめて後世に残すとともに、懐かしみ郷愁に浸ってもらえたらとの思いです。単に鹿児島弁と言っても地域それぞれの言い回しやイントネーションがあり、同じ地域であっても集落ごとで違ったりもします。関西きらら会の皆さんが集めた言葉の中にも初めて聞くものや、自分たちはそんな風には言っていなかったというものもあります。それはそれでいいのです。だって、方言なんてどれが正解なんてなくて、その土地で暮らす人々の話しているものが正解なのです。そこから、皆さんが思い出す田舎言葉・格言を募集します。おもしろい言葉、残すに意義ある・遺さなければならぬ先祖代々から伝わる格言等教えてください。応募用紙を配布しますので一言でもいいので書いてください。どこにも無い泊野ならではの鹿児島弁(ひな言葉)辞典を創りたいと思います。



編集後記「田の神やあつたつた」

公民館先「ぞみステーション道向かい」の雑種地(原野?)に除草剤を散布しました。大きな桑の木は夏場に影を作ってくれるので、今後ベンチに腰掛けて涼みながらの憩いの場集える場所にならないかななんて思いを馳せております。いずれにしても公民館周辺がヤブンツラにならないように工面していこうと思います。

日頃から墓地や道路沿いを気づいた方が除草してくれています。有難い事です。まさに今年度の地域づくりスローガン「ありがとう!次は私も頑張る輪」やテーマ「あ・た・が・い・さ・あ」の実践行動だと思っています。ムリしてやることでも、責務でやる必要もないのです。チヨット気づいたことを出来る範囲で行動に移すことが重要だと思います。あたりまえの事を普通にやる。それが重なり合って相乗効果を生み大きな輪になっていくのではないのでしょうか。

八木重吉の『賀しき信徒』の詩集の中に「ひとつの気持ちを持っていて 暖かくなつたので梅の花が咲いた その気持ちがそのままよい香りにもなるのだろう」(意識)の『梅』という題の詩があります。年の初めに手帳に書くお気に入りの言葉・格言の中の1つで、一番初めに書き綴った言葉です。ぶれることなく思いを持ち続けることが良い効果につながるのだと勝手に解釈しています。

皆が変わらぬ思い郷土愛を永遠に持ち続けることが大切なのですよね。